

2020年06月22日

【格付維持】 短資会社3社

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

＜格付見直し結果＞ * 格付対象は後記をご参照ください。

発行者	発行体格付	格付の方向性	短期債務
東京短資	A- (維持)	安定的	a-1 (維持)
セントラル短資	A- (維持)	安定的	a-1 (維持)
上田八木短資	A- (維持)	安定的	a-1 (維持)

【格付理由】

日本銀行が2016年2月にマイナス金利付き量的・質的金融緩和をスタートさせて以降、有担保コール市場は低迷しているが、無担保コール市場は10兆円台まで回復し、債券レポ市場の拡大も続いている。金融機関の短期金融市場における資金運用ニーズは根強い。

日銀当座預金の活用方針や業態ごとの運用・調達構造の違いが、短期金融市場の取引の多様化につながっている。中立的な立場でマーケットメーカーし仲介機能を果たす短資会社の重要性は高い。相対的にリスクの大きいディーリング業務に依存しなくとも利益を確保できる。

新型コロナウイルスの感染拡大による収益へのマイナス影響はこれまでのところみられない。金融市場の混乱のなかで取引ニーズが拡大しており、各社、業務態勢を整備して仲介機能を適切に果たしている。

○東京短資

国内短資3社の一角。債券レポ市場で高い競争力がある。デリバティブや債券取引のインターディーラーブローカーを傘下に置き、多様な金融仲介業務を展開している。グループ各社の業容は大きくないものの、配当金などを通じて一定の収益貢献がある。

リスク選好度は低い。コマーシャルペーパーのポジションはかつてに比べて増加しているが、高格付の発行体が主体で信用リスクが顕在化する可能性は低い。リスク管理態勢も保守的だ。リスク耐久力は格付に見合う。

○セントラル短資

国内短資3社の一角。インターバンク市場、オープン市場での収益に加えて、機関投資家向けの私募投資信託の販売事業を安定的な収益源とし、収益の分散が効いている。外国為替証拠金取引会社やマネーブローカーなどを傘下に置き、多様な金融仲介業務を展開している。

リスク選好度は低く、短資会社の中でリスクテイクには最も慎重だ。コマーシャルペーパーのポジションは増加しているものの、高格付の発行体が主体で信用リスクが顕在化する可能性は低い。リスク管理態勢も保守的だ。リスク耐久力は格付に見合う。

○上田八木短資

国内短資3社の一角。債券レポ取引や株レポ取引を収益源にオープン市場の収益構成比が高い。外国為替証拠金取引会社や投資助言、運用業務を行う会社などを傘下に置き、多様な金融仲介業務を展開している。

リスク選好度は短資会社の中ではやや高く、ディーリング業務などで一定のポジションを抱える。2020年2月期に同業務の収益が大きく減少したことを踏まえてリスク管理態勢を強化、短期国債を中心にポジションも縮小した。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp
 ■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

コマーシャルペーパーのポジションは増加しているものの、高格付の発行体が主体で信用リスクが顕在化する可能性は低い。リスク耐久力は格付に見合う。

【格付対象】

発行者：東京短資

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	A- (維持)	安定的
名称	格付	
短期債務	a-1 (維持)	

発行者：セントラル短資

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	A- (維持)	安定的
名称	格付	
短期債務	a-1 (維持)	

発行者：上田八木短資

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	A- (維持)	安定的
名称	格付	
短期債務	a-1 (維持)	

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	若井 恭兵
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	住田 直伸

信用格付を付与した日	2020年06月17日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2018. 05. 31] 金融機関等に共通する格付の考え方 [2020. 03. 23]
上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載 しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html	
評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html	
格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html	
格付関係者	東京短資、セントラル短資、上田八木短資
注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。	
利用した主要な情報 品質確保のための措置	決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等 公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保され ている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた 信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を 判断した情報であること。
情報提供者	格付関係者

信用格付の前提、意義及び限界

R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。

R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。

利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。